

先月二十日に行われた「まえばしロボコン2005」の中学生部門で優勝。宮城中三年生の姉と一年生の弟と一人でチーム「アルル」を組み、スponジボールと小さな段ボール箱を得点エリアへ入れる競技で百四十二チームの頂点に立った。

「大会のルールが発表されてすぐに、ロボットの製作に取り掛かりました。わたしは受験勉強も忙しくて、二割くらいしか作れなかつたけれど、二ヶ月半ほど間、完成するまではいろいろ大変で。だからこそ、出来上がったときはうれしかったです。三回戦でマシンにボールが

挟まり、ちょっと苦戦しましたが、それ以外は大会でもうまく動いてくれました(弓季さん)

「昨年は家族で一般的の部に出たのですが、マシンが途中で壊れてだめでした。その反省で今年は十分補強し、満足のいく物ができましたね。でも、こんなに勝ち続けられるとは思いもしなかつたです。来年は友人とチームを組んで中学生の部へ再び出場したいのですが、勝敗よりも自分の思ったとおりのロボット作りができるかに、集中したいと思っています(剛さん)

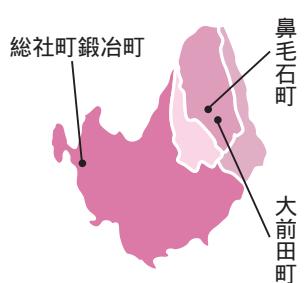
二人にとって、いつまでも心に残る夏休みの思い出ができた。

## 姉と弟の2人で力を合わせ



ひ  
と  
people

右 芦沢 弓季さん(14)  
左 剛 さん(12)  
大前田町



# ふれあい広場

情報を寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。

地蔵に参拝し  
子の成長願う

総社地区

八月二十三日、総社町鍛冶町の子育て地蔵尊で祭典が開かれました。子どもの健やかな成長を願う江戸時代からの行事です。このお地蔵様を参拝し、子宝に恵まれた人もいるというだけあり、お守りを買ったり、お札を受けたりする人大にぎわい。また、子どもみこしが元気に町内を練り歩き、夜には盆踊りも

行われました。佐藤守自治会長は「子どもたちが平和に暮らせる世の中への願いを込めて、祭りの灯を絶やす続けていきたいですね」と話していました。



活気守る納涼祭  
地区を挙げて

宮城地区



まちのニュース  
News

宮城地区納涼祭が、八月七日に鼻毛石町の宮城総合運動場で開かれました。多くのイベントが行われ、夕方からは大勢の参加者がステージやグラウンドを使つたハ太節、民謡踊りなど演芸を披露。暗くなるとだんぶえ踊りの大きな輪ができ、観客の盛り上がりも高まります。

最後は盛大な花火大会。市街の夜景を見下ろす会場の夜空に大輪の花が咲き、歓声が上がりました。花火の打ち上げが終わると同時に雨が降り出し、まるで終了まで待っていたかのよう。みんなで盛り上げた祭りでした。